

| | | | | | | | |
|------------|--|------------------------------------|-------|------|-----|---|----------------|
| 科目コード | E2177 | 科目名 | 幼児と言葉 | | | | |
| 履修区分 | 選択 | 開講期 | 1年後期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 2単位 |
| 担当者 | 佐々木 尚美 | | | | | | |
| 授業の概要 | 保育現場において、子どもを支援するための言葉に関する知識や技能について示す。保育者に求められる資質を、表現の側面から整理し学修する。子どもたちの成長に重要な、おたがいの感情やその表現を理解してかわりあう方法を実際に体験し、多様な言語表現を意識し深めていく。また、絵本の教材分析を通して、イメージを広げたり、関わりあいの大切さを実感する。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける | | | | | | |
| | 人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける | | | | | | |
| | 修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける | | | | | | |
| | 教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける | | | | | | |
| | 社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力 | | | | | | |
| 到達目標 | 1.保育・幼児教育における言葉の重要性に関する知識を習得し、その意味や意義を理解する。 2.保育現場において活用する教材にふれ、言葉の側面から分析(思考・判断)して活用する力を身につける。 3.保育者に必要な言語表現技能を獲得する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | 講義資料を整理するためのファイルを用意してください。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、コピー等を用意してください。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | | 事前・事後学修 | |
| | 1 | ガイダンス、オリエンテーション【佐々木 尚美】 | | | | 講義資料を整理するためのファイルを用意してください。 | |
| | 2 | 幼児期における言葉の発達と役割【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 3 | 乳幼児期の教育・保育の基本【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 4 | 乳幼児期の発達過程から見える言葉の重要性【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 5 | 児童文化財と言葉の育ち(1)絵本の役割、目的と方法【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 6 | 児童文化財と言葉の育ち(2)絵本の種類・分析【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 7 | 児童文化財と言葉の育ち(3)絵本の読み聞かせの実際【佐々木 尚美】 | | | | 読み聞かせ会のための絵本を用意し、練習して当日に備え発表する。(60分) | |
| | 8 | 表現の方法と計画【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 9 | 教材の研究・分析(1)言語活動の一つ、手遊びの分析【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 10 | 教材の研究・分析(2)言語活動の一つ、手遊びの実際【佐々木 尚美】 | | | | 分析対象の手遊びを用意し、発表をする。(60分) | |
| | 11 | 教材の研究・分析(3)シアター系の児童文化財【佐々木 尚美】 | | | | 教材分析を十分におこない、次回の教材作成の計画・準備をする。(30分) | |
| | 12 | 教材の研究・分析(4) パネルシアター教材作成・実際【佐々木 尚美】 | | | | グループで協力して言語活動の一つパネルシアター教材作成、完了して発表をする。(60分) | |
| | 13 | メディアと言葉の表現【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 14 | メディアを活用した言葉の教育【佐々木 尚美】 | | | | 前時の内容を踏まえ、資料を整理し、次回の講義資料を用意をする。(30分) | |
| | 15 | 保育の中の言葉 幼小連携に向けて【佐々木 尚美】 | | | | これまでの内容を踏まえ、資料を整理し、復習を十分におこなう。(30分) | |
| 成績評価方法 | 講義ごとに提出する学び・振り返り提出物の内容50%、実戦発表30%、最終レポート20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者(出版社) | | | | | | ISBNコード |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 参考書 | 『幼稚園教育要領解説』・文部科学省(フレーベル社) | | | | | | 9784577812457 |
| | 『保育所保育指針解説』厚生労働省(フレーベル社) | | | | | | 978-4577812426 |
| 教員からのメッセージ | 講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | 学びへの不明点や質問があれば、授業の振り返り記述して提出物に具体的に記述し、教員に連絡・確認を必ず取ってください。 | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | 幼児教育・保育に携わった実務経験を十分に活かし、より子どもの発達の姿や保育の実際を具体的に説明できる実践的な授業を行い、保育者に必要な技術が獲得できるようにする。 | | | | | | |